

東広島市鏡山、西条町下見（広島大学周辺エリア）

欧米の大学立地を成長につなげている成功事例を参考とした、タウン（街）とガウン（学生・教授）たちが一体となったまちづくり、持続可能な地方都市として、「適散・適集社会」の新たな都市モデルの構築により、最先端の技術を取り入れながら、イノベーションを創出し、世界から起業家や研究者が集まるまちづくりを実現させる。



■ 計画等における位置付け

第五次東広島市総合計画（地域別計画）において、「新たなテクノロジーによる次代の創造と学術・研究・国際化を先導するまち」を将来像に掲げる。

■ 地域特性・資源

- ・広島大学や広島中央サイエンスパークを始めとした知の集積地
- ・人口増加地域
- ・陸路・空路におけるアクセスの良さ

■ 地区の現況・課題

- ・大学生の定着が低調（人材の域外流出）
- ・外国からの高度人材等の住環境整備
- ・産学連携拠点の確保

■ 目指すべき居住環境

大学と都市がセットで選ばれるための基盤を形成することで、豊かな暮らしをするために必要な都市機能とゆとりと魅力ある居住環境を創出する。



ゆとりと魅力ある都市空間 ビジネス創出拠点



次世代交通



居住機能(ハイクラス層)



インターナショナルスクール



デジタル基盤

■ 実現に向けた取組予定

- ・ニーズ調査、目指すべき将来ビジョン・グランドビジョンの策定
- ・将来ビジョンの実現に向けたハード面における調整（令和4年度以降）
- ・エリアマネジメント運営などソフト面における調整（令和5年度以降）

■ 連携する関係団体

Town & Gown Office（広島大学）

■ スケジュール

